

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 渡邊 源 市
幹事 鈴木 聖 三
広報・会報委員長 小林 英 毅

No. 35

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

2016 ~ 2017 年度

RI会長
ジョンF.ジャーム

今日の例会

第1640回 平成29年 5月 9日 (火)
会員卓話 加藤 重雄 君
「陸前高田市へ復興支援に行った時の話」

先回の例会

第1639回 平成29年 4月 25日 (火) 晴
クラブ フォーラム / 地区研修協議会報告

◆奉仕の理想

◆ビジター紹介 志水 ひろみ さん (春日井 RC)

◆出席報告

会 員 35 (29) 名 出席 26 名
出席率 89. 66 %
前々回 4 / 11 (修正出席率) 89. 66 %

鈴木幹事報告

- 1) 本日例会終了後、次年度との合同アセンブリー、理事役員会開催。理事役員、各委員長の皆様は3階「梅の間」へお集まり下さい
- 2) 次週5月2日は休会です。次回例会は5月9日ですので、宜しくお願い致します
- 3) 5月のロータリーレート 1ドル=110円

渡邊会長挨拶



みなさんこんにちは。
春日井 RC の志水ひろみ様、当クラブ例会へのご参加ありがとうございます。

さて、本日は小児がんの日です。小児がんは一般的に15歳以下の子どもに起こるがん(悪性腫瘍)です。大人のがんに比べれば患者数は少ないですが、毎年2,500人くらいの子どもたちが新たに発症。発症率は10万人に一人の割合で、年間16,000人近い子どもが小児がんと闘っており、自己を除いた小児の死亡原因の一位になっています。

小児がんの種類は多種多様で、47種類の分類(「小児がん国際分類(ICC)による」)があり、日本では「白血病:40%」「脳(脊髄)腫瘍:20%」「神経芽腫」「悪性リンパ腫」などが上位を占めています。成人のがんと比べて患者数が少ないため、治療法や薬の研究開発が遅れています。小児がんに通じた専門家が少なく、適切な診断や治療がなされないケースが多々あります。治療率向上のためには、病気の発症率、年次推移等のデータの把握が必要ですが、データの収集が十分ではありません。治療には半年から1年間の入院が必要となりますが、入院中の子ども達の学習環境や教育体制が整備されていません。長期の入院や通院にともなう、経済的負担も重くなっています。小児がん経験者の多くが晩期合併症に悩んでいます(低身長・肥満などの成長発達への影響、心機能や肝機能障害、視力低下など臓器機能への影響)。学業に復帰したり就職したりする際、就学先、就職先の無理解や相談・支援体制が整備されていないため、困難に直面する場合があります。成人後は収入が得られないため自立が困難な場合があります。

全国で「ゴールドリボン」というキャンペーンマークを使った支援活動が展開されています。様々な団体がこのシンボルマークを使って、小児がんに関する啓発活動や、治療研究などへの経済的支援を求める運動をしています。一般への啓発活動としてゴールドリボンウォーキング・ジョギングが各地で行われています。他に美容室業界からカツラの材料となる髪の毛の寄付、アフラックの「トモダチアフラックプログラム」(医学留学助成制度)などがあります。ロータリー第2760地区関係では豊島株式会社が運動に参加していました。また、名古屋では名古屋大学医学部付属病院小児科が全国トップの評価を得て、小児がん拠点病院に選ばれており、元小児科教授、小島勢二先生を中心とした「名古屋小児がん基金」が昨年6月に設立され、全国から患者さんが訪れているそうです。RCではアイリスRCが積極的に支援をしており、中日新聞にも掲載されていました。家へ戻られたら、WEBで「小児がんの日」を検索して更に理解を深めて下さい。

4月は「母子の健康月間」です

会長テーマ 『クラブ奉仕からはじめよう』

本紙は再生紙を使用しております。

2017-18 年度のための地区研修・協議会報告



ロータリー：
変化をもたらす

地区研修協議会

2017年4月22日(土)

13:00~17:00

ウエスティンナゴヤキャッスル

ホスト：一宮北ロータリークラブ

第1分科会

加藤 重雄君



第一分科会は会長、幹事、会長エレクト、副幹事、ロータリー研修(情報)、それと会員増強の方々に登録人数480名ですが、実出席者は200名くらいでした。

神野重行ガバナーエレクトから、会長・幹事等の任期は一年であるので基本的経営理念という点で心配する

がRIは会長が毎年代わっても目的は変わっていない、目的に向かってクラブ戦略委員会を作って色々と考えて見る様に。又、現 服部ガバナーからはクラブ運営に柔軟性を持って運営して欲しい。

岩月地区幹事からは、10月22・23日に行なわれたW.F.Fからポリオプラス一萬ドルの拠出をしました。

光岡会員増強委員長から、毎年300名くらいの入会者があるが150~200名くらいの退会者がある。年度末の退会が52%、6月末が48%、退会者を減らす努力をする必要がある。その他V.T.Tで昨年12月フィリピン・マニラに医療派遣を行なった。2017~2018年度ではネパールへ医療派遣を行う予定である。

昨年12月5日に名古屋宮の杜ロータリークラブが発足、会員が非常に若い平均年齢49.1歳、会員増が最近では珍しく多い、29年4月20日付で4,857名(地区全体)120名増、マイロータリー1,178名になった。

第2分科会

碓氷 美佳さん



2017年4月22日。ウェスティンナゴヤキャッスルホテルにおいて一宮北ロータリークラブホストにより「国際ロータリー2760地区2017~2018年度地区研修・協議会」が行われました。

全出席者数1700名強、千種ロータリークラブからは15名が出席してまいりました。

ガバナーエレクトの点鐘をもって本会議開会。服部良男ガバナー。近藤雄亮次期研修リーダー。神野重行ガバナーエレクトからの挨拶、そして最後に、第2ゾーン公共イメージコーディネーター・第2620地区パストガバナーであられる高野孫左工門様による特別講演がございました。

2017年-2018年度は地区方針として「今日からのロータリーを楽しもう！」と掲げています。

「第四次産業革命といわれるこの時代、われわれロータリアンも従来の取り組み方や展開をこれからの時代

に拾うよう変化させていかなければならない。ロータリアン自身が絶えず向上意欲を持ち、奉仕を通じて『より高いロータリーブランドの追及』を目指す。そしてそれを会員が楽しみとしなければ、ロータリークラブの持続、継続はなしえない。」

というお話を軸に、

①各クラブ「これからを見据えたクラブ戦略委員会」を設置して、自クラブの未来について話し合う。

②地区やクラブの奉仕活動に積極的に参加する。

③インターアクト、ローターアクトはじめ、若いロータリーファミリーとの連携で活気を得る。

④新入会員が辞めていかない魅力あるクラブに進化させる。

以上の主旨のお話が続きました。

各分科会ごとの研修では、第2分科会に出席致しました。テーマは「ロータリーの楽しい過ごし方」。

本会講でのお話を骨子としているので、内容としては重複していましたが、「まずはロータリーを楽しむことが大切である」ということが主題でした。それにはロータリー活動に「変化」をもたらすことが必要。新鮮な感動や喜びがあつてこそ、「楽しく持続」できる。マンネリ化した例会でなく。新しいアイデアを取り入れた例会進行を考えるなど、次年度の親睦委員会運営のヒントになるお話をいくつか聞きました。

我が千種ロータリークラブの次年度会長テーマも『クラブの未来を創りましょう』です。研修・協議会にて得たことを生かして、より楽しく参加し、過ごせるクラブとなるよう未来に向けて努力したいと強く思いました。

ニコボックス

加藤 重雄

長男が4月19日に生まれました。

小山 雅弘

先日、中日新聞 朝刊の文芸面に いづみ画廊創業50周年の記事がカラーで紹介されました。

鍋野 可幸

お陰さまで体調も徐々に回復して参りました。

後3ヶ月ガンバリます

鈴木 理之

小山君家業50周年お目度う、三代目に継ぎ続けた事、何よりです。

渡邊 源市

地区大会参加ありがとうございます

真央ちゃんの愛知県名誉県民賞、元気をもらいました。

和田 正敏

会員誕生日お祝い

結婚記念日お祝い

足立 一郎

福井 浩道

長谷川 亨

林 永芳

池森 由幸

櫻尾 富二

河合 隆史

小林 英毅

柵木 充明

松岡多加倫

宮尾 紘司

太田 和孝

大谷 恩

佐野 寛

鈴木 聖三

舎人 経昭

碓氷 美佳

山本 眞輔

吉田 玄

25件

合計 73,000円

次回例会 平成29年 5月16日(火) 3階 錦の間

卓話

幫問

直太郎の「おもてなし」

近藤 直樹 君 (名古屋中RC)